

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	理学療法治療学Ⅱ-A		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (3) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	302
担 当 教 員	高田 秀志 ほか	実務経験と その関連資格	理学療法士として回復期病院やデイサービス等で地域医療に従事。福祉住環境コーディネータ2級取得。地域医療政策講座にて医科学修士を取得。			
《授業科目における学習内容》						
<p>脳・血管系の疾患に対する理学療法を、その疾患特有の評価から治療テクニックまで、実習を交えながら学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・脳血管疾患の障害像ならびに評価の考え方を理解する。</li> <li>・症例に応じた評価項目を選択でき、評価結果から問題点を導くことができる。</li> <li>・障害像に応じた理学療法プログラムの立案能力を習得する。</li> </ul>						
《成績評価の方法と基準》						
筆記試験や出席、レポート提出、グループワークでの総合評価とする						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準理学療法学 神経理学療法学 ベッドサイドの神経の診かた 改訂18版						
《授業外における学習方法》						
事前に指定テキストを読んでおく。						
《履修に当たっての留意点》						
予習・復習を通して、学びを深める						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳卒中の理学療法概論について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく	
		各コマにおける授業予定	脳卒中の理学療法概論			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	中枢神経系の構造と機能について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく	
		各コマにおける授業予定	脳卒中の障害総論 中枢神経系の構造と機能			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳卒中の発症および回復メカニズムについて学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく	
		各コマにおける授業予定	脳卒中の障害総論 脳卒中の病態とリスク管理			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳画像と臨床症状について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく	
		各コマにおける授業予定	脳卒中の障害総論 脳画像と臨床症状 1			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳画像と臨床症状について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を讀	

5 回	表 形 式	各コマに おける 授業予定	脳卒中の障害総論 脳画像と臨床症状 2	テキスト、配布資料	み、分からない箇所は 事前に調べておく
--------	-------------	---------------------	------------------------	-----------	------------------------

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	意識障害について学び、説明できるようになる。	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	脳卒中の障害総論 脳卒中の回復メカニズム		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳卒中の評価について列挙できる	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	脳卒中の評価(評価項目の列挙)		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	運動麻痺についての評価を行うことができる	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	脳卒中の評価演習1(運動麻痺)		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	感覚障害・異常筋緊張についての評価を行うことができる	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	脳卒中の評価演習2(感覚障害・異常筋緊張)		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高次脳機能障害についての評価を行うことができる	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	脳卒中の評価演習3(高次脳機能障害)		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	姿勢バランス障害についての評価を行うことができる	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	脳卒中の評価演習4(姿勢バランス障害)		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	起居動作についての評価を行うことができる	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	脳卒中の評価演習5(起居動作)		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	歩行障害についての評価を行うことができる	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	脳卒中の評価演習6(歩行障害)		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	必要な情報を収集し、理学療法に何をききたいしているのかを考 えることができる	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 1 理学療法における臨床意思決定過程 (面接・情報収集)		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	検査・測定前のおおまかに正常か否かを判別する内容を学ぶ	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく

15回	演習形式	各コマにおける授業予定	CASE 1 理学療法における臨床意思決定過程 (スクリーニング)	アキハト、配布資料	み、分からない箇所は事前に調べておく
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	検査・測定項目を列挙し、必要な情報を入手することができる	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 1 理学療法における臨床意思決定過程 (検査・測定)		
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	収集した情報や知見を統合して、対象者の状況を解釈できる	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 1 理学療法における臨床意思決定過程 (統合と解釈)		
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	対象者に特異的で、その状況に密接に関連し、生活において有意義な対象者中心の目標を設定できる	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 1 理学療法における臨床意思決定過程 (目標設定と介入計画)		
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	様々な介入を実施する段階で、経過記録(SOAP)について学ぶ	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 1 理学療法における臨床意思決定過程 (介入)		
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介入前と介入後の変化について考察できる	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 1 理学療法における臨床意思決定過程 (帰結評価)		
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	得られた情報の原因や結果、影響する因子などについて推論して形成し、その仮説を検証するための項目を追加することができる。	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 1 理学療法における臨床意思決定過程 (推論と仮説形成)		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	必要な情報を収集し、理学療法に何をききたいしているのかを考えることができる	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 2 理学療法における臨床意思決定過程 (面接・情報収集)		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	検査・測定前のおおまかに正常か否かを判別する内容を学ぶ	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 2 理学療法における臨床意思決定過程 (スクリーニング)		
第24回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	検査・測定項目を列挙し、必要な情報を入手することができる	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 2 理学療法における臨床意思決定過程 (検査・測定)		

第25回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	収集した情報や知見を統合して、対象者の状況を解釈できる	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 2 理学療法における臨床意思決定過程 (統合と解釈)		
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第26回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	対象者に特異的で、その状況に密接に関連し、生活において有意義な対象者中心の目標を設定できる	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 2 理学療法における臨床意思決定過程 (目標設定と介入計画)		
第27回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	様々な介入を実施する段階で、経過記録(SOAP)について学ぶ	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 2 理学療法における臨床意思決定過程 (介入)		
第28回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	介入前と介入後の変化について考察できる	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 2 理学療法における臨床意思決定過程 (帰結評価)		
第29回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	得られた情報の原因や結果、影響する因子などについて推論して形成し、その仮説を検証するための項目を追加することができる。	テキスト、配布資料	テキストの該当分野を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 2 理学療法における臨床意思決定過程 (推論と仮説形成)		
第30回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	必要な情報を収集し、理学療法に何をききたいしているのかを考えることができる	テキスト、配布資料	これまで学んだ箇所を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 3 理学療法における臨床意思決定過程 (面接・情報収集)		
第31回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	検査・測定前のおおまかに正常か否かを判別する内容を学ぶ	テキスト、配布資料	これまで学んだ箇所を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 3 理学療法における臨床意思決定過程 (スクリーニング)		
第32回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	検査・測定項目を列挙し、必要な情報を入手することができる	テキスト、配布資料	これまで学んだ箇所を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 3 理学療法における臨床意思決定過程 (検査・測定)		
第33回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	収集した情報や知見を統合して、対象者の状況を解釈できる	テキスト、配布資料	これまで学んだ箇所を読み、分からない箇所は事前に調べておく
		各コマにおける授業予定	CASE 3 理学療法における臨床意思決定過程 (統合と解釈)		
第	講義	授業を通じての到達目標	対象者に特異的で、その状況に密接に関連し、生活において有意義な対象者中心の目標を設定できる	テキスト、配布資料	これまで学んだ箇所を

34回	演習形式	各コマにおける授業予定	CASE 3 理学療法における臨床意思決定過程 (目標設定と介入計画)	アヤハト、配布資料	読み、分からない箇所は事前に調べておく
第35回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	様々な介入を実施する段階で、経過記録(SOAP)について学ぶ	テキスト、配布資料	これまで学んだ箇所を読み、分からない箇所は事前に調べておく
	演習形式	各コマにおける授業予定	CASE 3 理学療法における臨床意思決定過程 (介入)		
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第36回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介入前と介入後の変化について考察できる	テキスト、配布資料	これまで学んだ箇所を読み、分からない箇所は事前に調べておく
	演習形式	各コマにおける授業予定	CASE 3 理学療法における臨床意思決定過程 (帰結評価)		
第37回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	得られた情報の原因や結果、影響する因子などについて推論して形成し、その仮説を検証するための項目を追加することができる。	テキスト、配布資料	これまで学んだ箇所を読み、分からない箇所は事前に調べておく
	演習形式	各コマにおける授業予定	CASE 3 理学療法における臨床意思決定過程 (推論と仮説形成)		
第38回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	必要な情報を収集し、理学療法に何をききたいしているのかを考えることができる	テキスト、配布資料	これまで学んだ箇所を読み、分からない箇所は事前に調べておく
	演習形式	各コマにおける授業予定	CASE 4 理学療法における臨床意思決定過程 (面接・情報収集)		
第39回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	検査・測定前のおおまかに正常か否かを判別する内容を学ぶ	テキスト、配布資料	これまで学んだ箇所を読み、分からない箇所は事前に調べておく
	演習形式	各コマにおける授業予定	CASE 4 理学療法における臨床意思決定過程 (スクリーニング)		
第40回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	検査・測定項目を列挙し、必要な情報を入手することができる	テキスト、配布資料	これまで学んだ箇所を読み、分からない箇所は事前に調べておく
	演習形式	各コマにおける授業予定	CASE 4 理学療法における臨床意思決定過程 (検査・測定)		
第41回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	収集した情報や知見を統合して、対象者の状況を解釈できる	テキスト、配布資料	主体的にグループ活動に参加し、協動的にすすめていく。
	演習形式	各コマにおける授業予定	CASE 4 理学療法における臨床意思決定過程 (統合と解釈)		
第42回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	対象者に特異的で、その状況に密接に関連し、生活において有意義な対象者中心の目標を設定できる	テキスト、配布資料	主体的にグループ活動に参加し、協動的にすすめていく。
	演習形式	各コマにおける授業予定	CASE 4 理学療法における臨床意思決定過程 (目標設定と介入計画)		
第43回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	様々な介入を実施する段階で、経過記録(SOAP)について学ぶ	テキスト、配布資料	主体的にグループ活動に参加し、協動的にすすめていく。
	演習形式	各コマにおける授業予定	CASE 4 理学療法における臨床意思決定過程 (介入)		

第44回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	介入前と介入後の変化について考察できる	テキスト、配布資料	主体的にグループ活動に参加し、協調的にすすめていく。
	各コマにおける授業予定	CASE 4 理学療法における臨床意思決定過程 (帰結評価)			
第45回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	得られた情報の原因や結果、影響する因子などについて推論して形成し、その仮説を検証するための項目を追加することができる。	テキスト、配布資料	主体的にグループ活動に参加し、協調的にすすめていく。
	各コマにおける授業予定	CASE 4 理学療法における臨床意思決定過程 (推論と仮説形成)			